

卒業生に関するアンケート調査 結果報告

令和5年11月
広島文化学園大学
就職・キャリア支援センター

1 調査目的

卒業生就職先の企業等へ「求める人材の要件」等の調査を行い、教育の効果及び学生が修得した学修の成果等を把握し、その結果を本学の教育内容にフィードバックすることにより、更なる改善に資する。

2 調査期間

令和5年9月

3 調査対象

令和5年3月卒業生が就職した企業等

4 調査方法

自記式の調査用紙（記名式）

5 回答率

学部	回答数	依頼数	回答率
看護学部	50	62	80.6%
学芸学部	23	57	40.4%
人間健康学部	51	87	58.6%
計	124	206	60.2%

6 調査内容

- (1) 事業内容
- (2) 採用の際の重視度（3項目選択）
- (3) 卒業生の資質（5段階評価）
- (4) 改善すべき事項（自由記述）
- (5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）
- (6) 本学の教育についての意見（自由記述）

7 調査結果

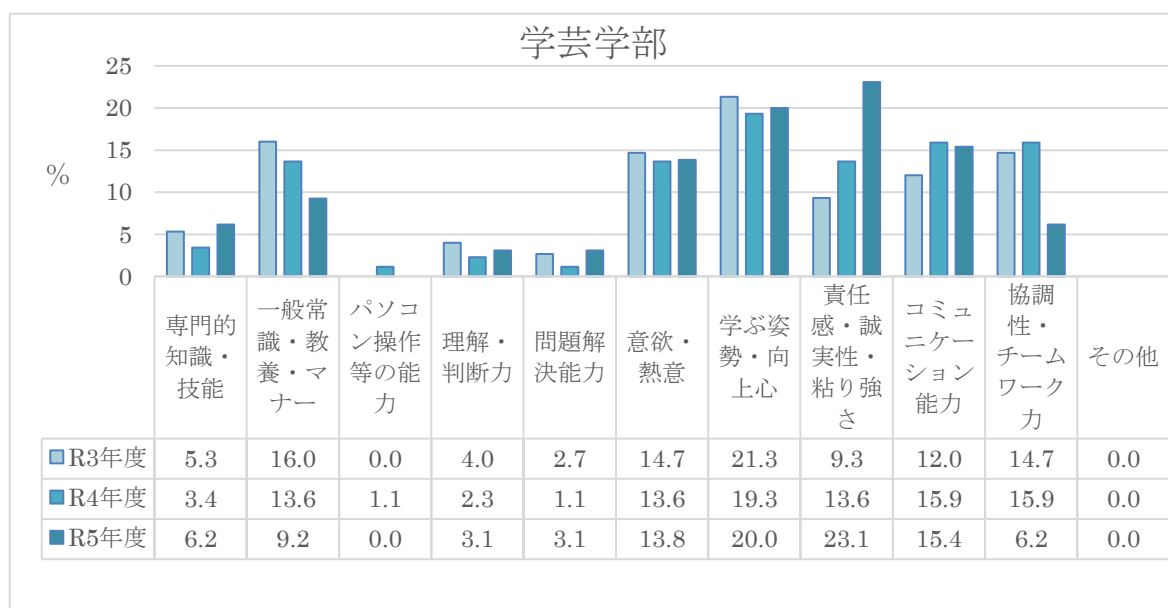
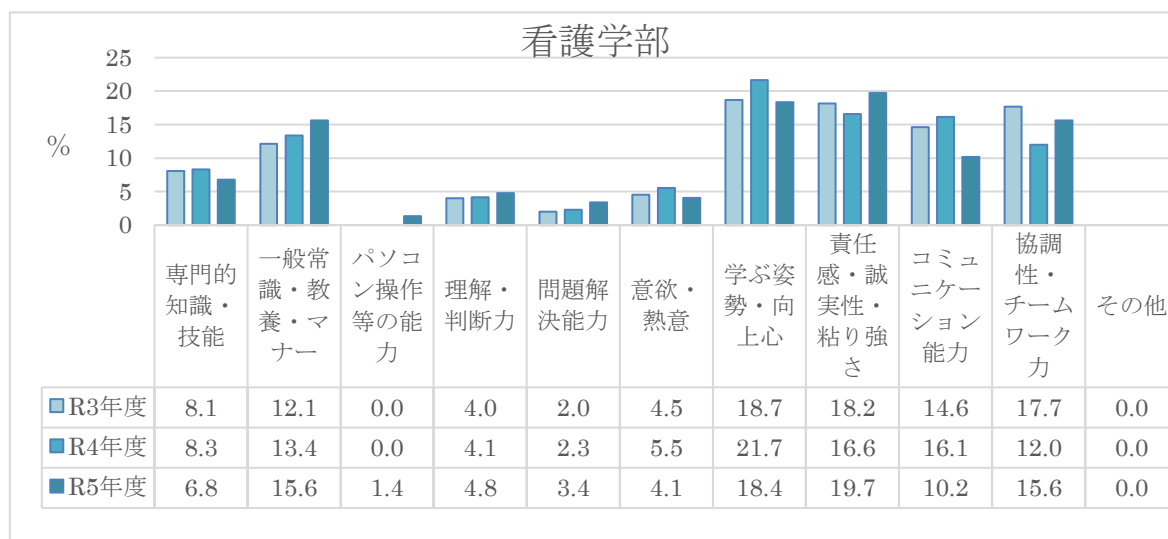
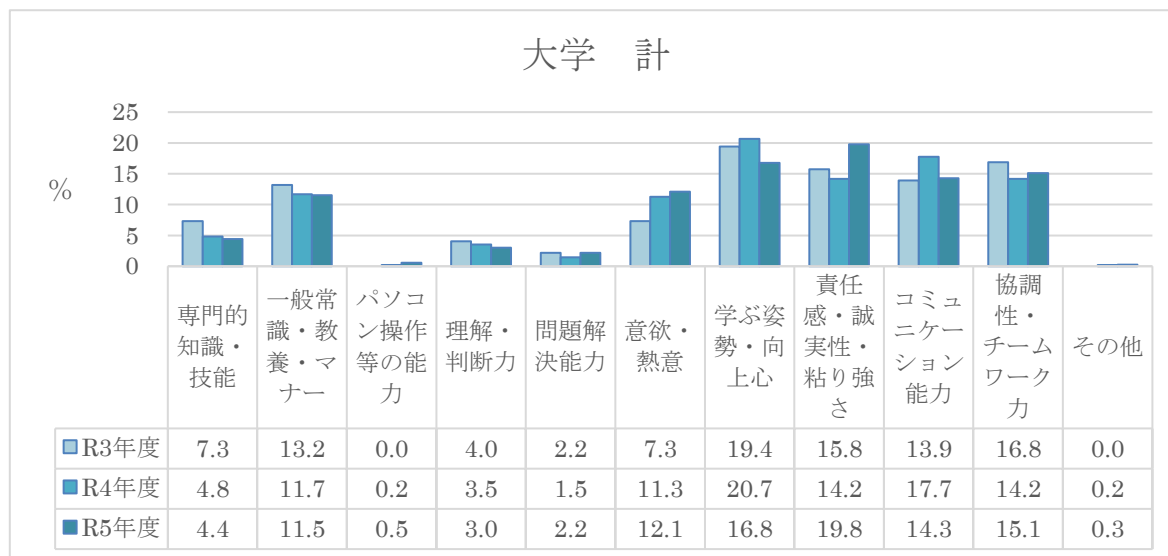
(1) 事業内容

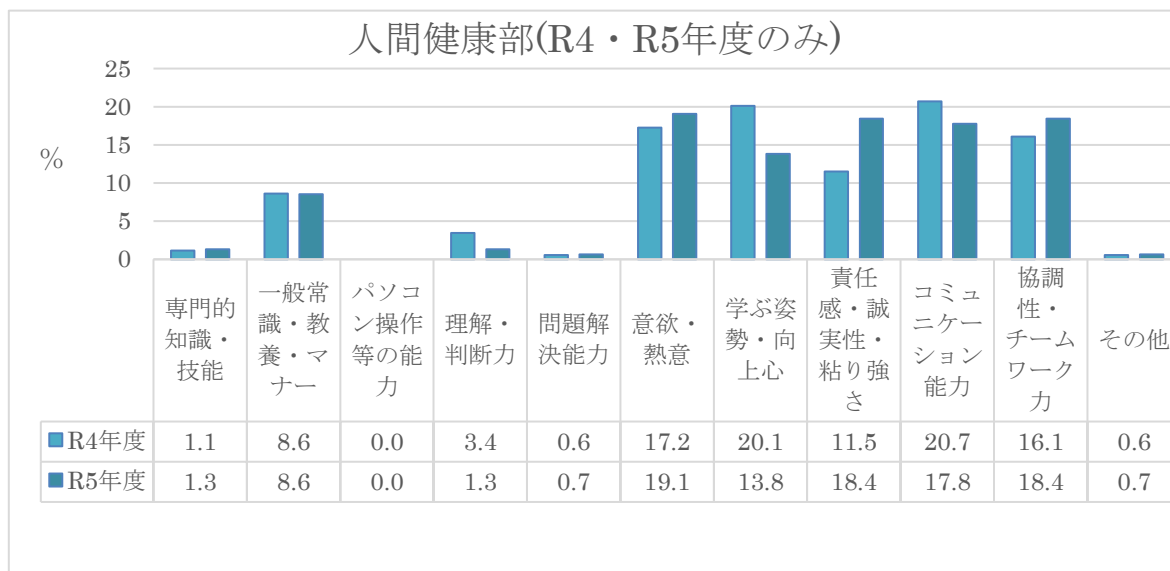
学部	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
看護学部												50		
学芸学部		1				4					2	10	1	5
人間健康学部	5	3	1		2	16	1	2	1	4	1	8	2	5

- ①建設 ②製造 ③電気・ガス ④情報通信 ⑤運輸・郵便 ⑥卸売・小売
⑦金融・保険 ⑧不動産・賃貸 ⑨宿泊・飲食 ⑩娯楽 ⑪教育・学習支援
⑫医療・福祉 ⑬複合サービス ⑭その他

(2) 採用の際の重視度（3項目選択）

企業等が採用時に重視度の高い評価項目は各学部共通して「一般常識・教養・マナー」「意欲・熱意」「学ぶ姿勢・向上心」「責任感・誠実性・粘り強さ」「コミュニケーション能力」「協調性・チームワーク力」であり、令和3年度と令和4年度も同様である。





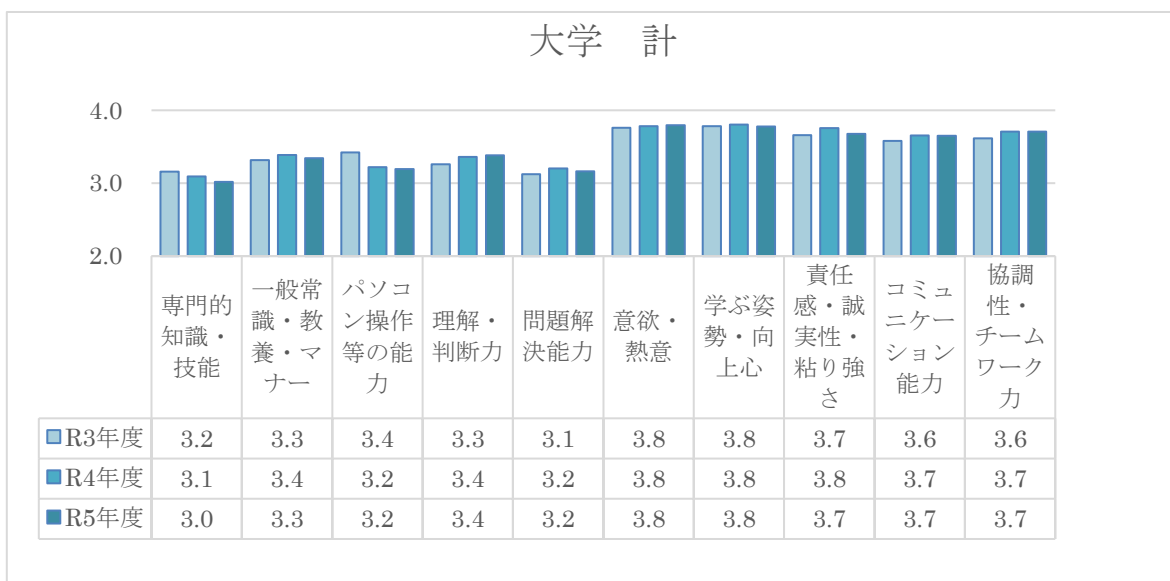
(3) 卒業生の資質（5段階評価）

卒業生の資質についての評価結果は5段階評価で3.0から3.8である。

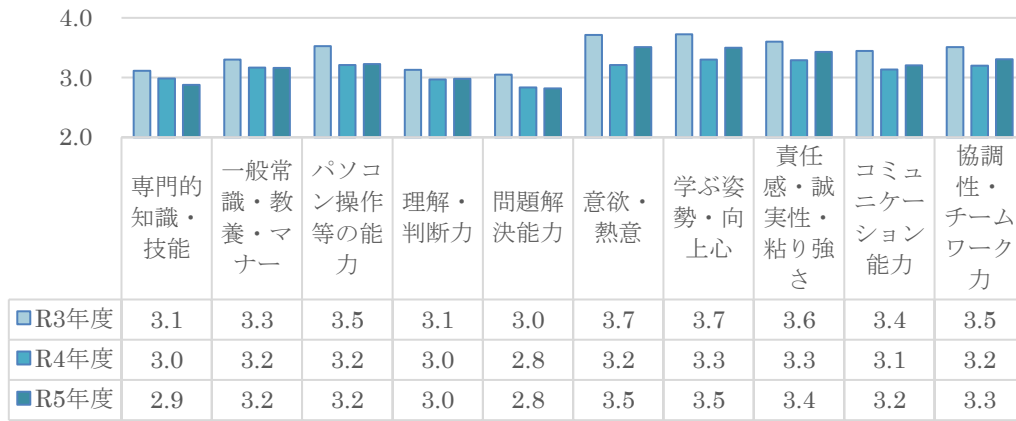
評価の高い項目（3.5以上）は「意欲・熱意」「学ぶ姿勢・向上心」「責任感・誠実性・粘り強さ」「コミュニケーション能力」「協調性・チームワーク力」である。

逆に、評価の低い項目（3.4以下）は「専門的知識・技能」「一般常識・教養・マナー」「パソコン操作等の能力」「理解・判断力」「問題解決能力」であり、令和3年度と令和4年度も同様である。

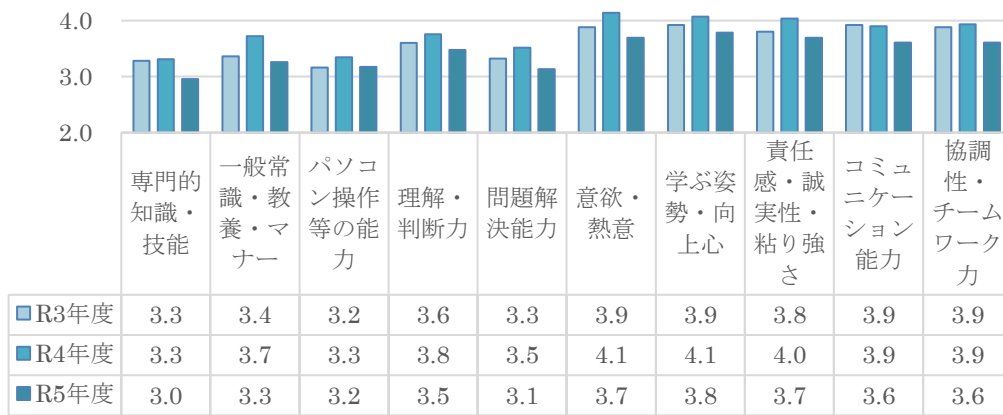
令和4年度と比較して評価結果が上がった項目の該当はなく、下がった項目は「専門的知識・技能」「一般常識・教養・マナー」「学ぶ姿勢・向上心」である。



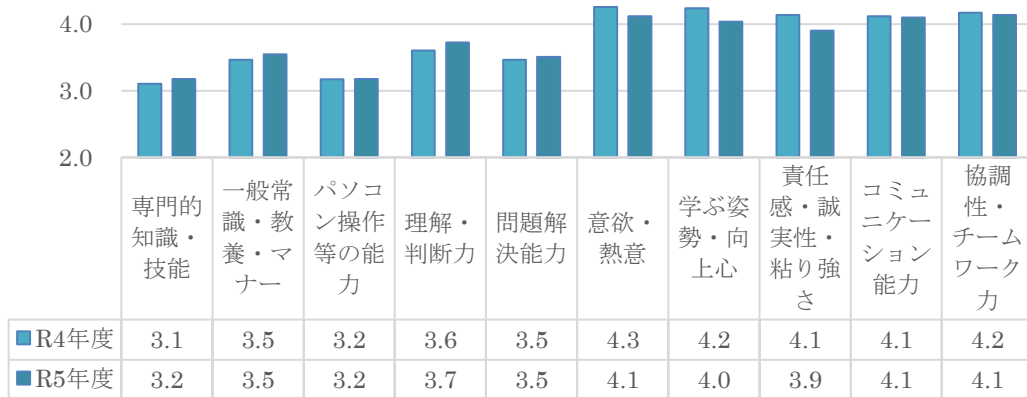
看護学部



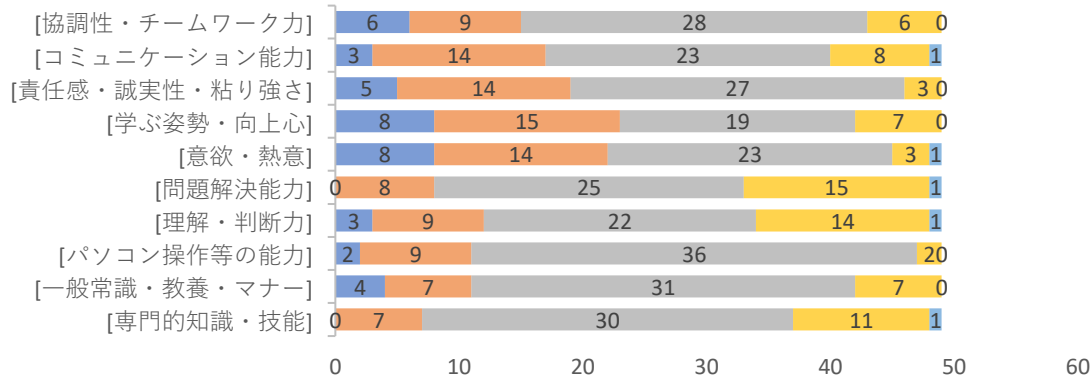
学芸学部



人間健康学部(R4・R5年度のみ)

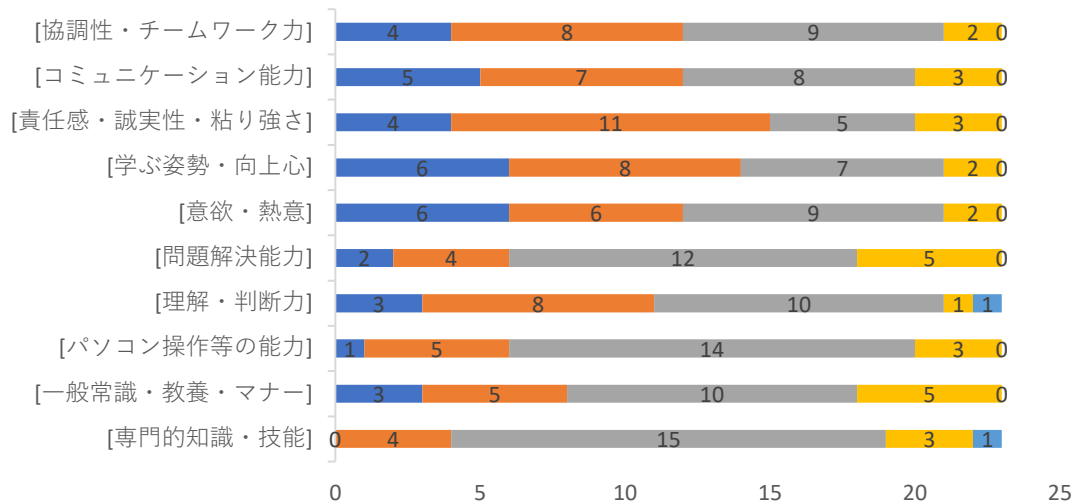


令和5年度 看護学部



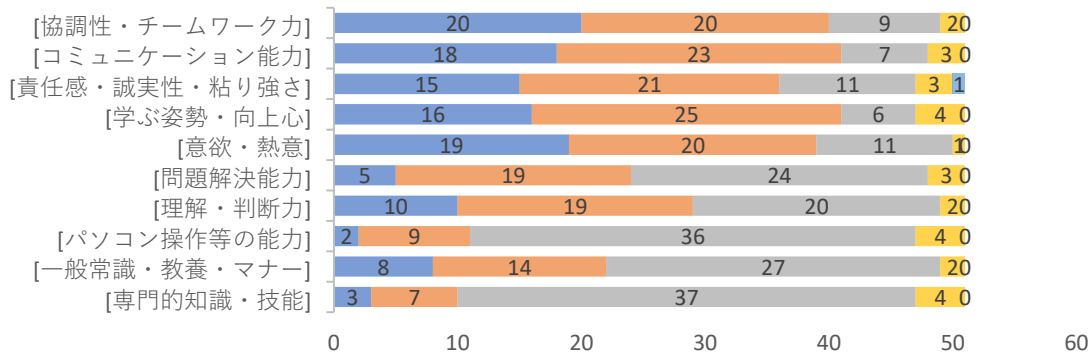
	[専門的知識・技能]	[一般常識・教養・マナー]	[パソコン操作等の能力]	[理解・判断力]	[問題解決能力]	[意欲・熱意]	[学ぶ姿勢・向上心]	[責任感・誠実性・粘り強さ]	[コミュニケーション能力]	[協調性・チームワーク力]
■ 5	0	4	2	3	0	8	8	5	3	6
■ 4	7	7	9	9	8	14	15	14	14	9
■ 3	30	31	36	22	25	23	19	27	23	28
■ 2	11	7	2	14	15	3	7	3	8	6
■ 1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0

令和5年度 学芸学部



	[専門的知識・技能]	[一般常識・教養・マナー]	[パソコン操作等の能力]	[理解・判断力]	[問題解決能力]	[意欲・熱意]	[学ぶ姿勢・向上心]	[責任感・誠実性・粘り強さ]	[コミュニケーション能力]	[協調性・チームワーク力]
■ 5	0	3	1	3	2	6	6	4	5	4
■ 4	4	5	5	8	4	6	8	11	7	8
■ 3	15	10	14	10	12	9	7	5	8	9
■ 2	3	5	3	1	5	2	2	3	3	2
■ 1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0

令和5年度 人間健康学部



	[専門的知識・技能]	[一般常識・教養・マナー]	[パソコン操作等の能力]	[理解・判断力]	[問題解決能力]	[意欲・熱意]	[学ぶ姿勢・向上心]	[責任感・誠実性・粘り強さ]	[コミュニケーション能力]	[協調性・チームワーク力]
■5	3	8	2	10	5	19	16	15	18	20
■4	7	14	9	19	19	20	25	21	23	20
■3	37	27	36	20	24	11	6	11	7	9
■2	4	2	4	2	3	1	4	3	3	2
■1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

(4) 改善すべき事項（自由記述）

「素直で仕事に頑張っており、前向きな姿勢である」「学ぶ姿勢が良く、努力している」「OJTの評価が高く、多くのポジティブな特性が認められる」等、肯定的な評価を多く受けている。

しかし、一方では改善すべき事項として次のとおり意見をいただいた。

- ① 専門的知識・技能に関する事
「柔軟な思考力や実践力が不足している」等
- ② 一般常識・教養・マナーに関する事
「礼儀やマナー、コミュニケーション能力の向上が必要」等
- ③ 理解・判断力に関する事
「多重課題に苦手意識がある」等
- ④ 問題解決能力に関する事
「自主性が低く、指示がないと行動に移らない」等

(5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）

「指導の手厚さを感じる」「接遇マナーが行き届いている」等、肯定的意見もあるが、その一方で「コミュニケーション能力の育成」「社会人、職業人としての意識」「礼儀、マナー」等、社会人基礎力の習得等について更なる改善が望まれるとの意見をいただいた。